

水質と河川の保全



堤防除草



護岸補修



堆積土砂撤去



塵芥処理



河川パトロール



河川愛護モニター会議状況



河川管理施設等の点検

■維持修繕事業

堤防を常に良好な状態に保つために、堤防の除草や護岸補修、樋門の点検・補修を行っています。また、ゴミなどの不法投棄や水質の変化など、川の状況を河川愛護モニターによる連絡や河川パトロールによる目視およびカメラなどで確認しています。

■許認可業務

河川を利用する場合に必要な許認可に関する手続きを行っています。

- 上水道や農業用水など、川の水を利用する場合の許可
- 河川敷に作られる公園、運動場などの許可
- 橋や樋門など、川に作られる工作物の審査



許認可審査状況



樋門操作説明会状況



油等流出事故対策状況



魚類へい死調査状況

■水質事故対応

油流出等、利水上多大な影響を及ぼす恐れのある物質が流出した場合は、関係機関と連携して直ちに影響を最小限に抑える措置をとり、安全の確保を図ります。

■土砂の管理

肱川では河床の状況を把握するために定期的に横断測量を行っています。測量の結果、ならびに河川巡視により局所的な深掘れや堆積が見られた場合には、洗掘対策や河床整正など適宜対策を行います。特に、大きな洪水の後には大量の土砂が河道内に堆積するため、集中的に土砂の撤去を行います。また、植生の繁茂により砂州が固定化しているところについては、堆積した土砂が洪水時に移動できるよう、草木の伐採・除根を行います。

樋門に堆積した土砂の撤去



河道内に堆積した土砂の撤去



■河道内樹木の管理

河道内の樹木については、良好な動植物の生息・生育環境及び良好な景観を形成しており、引き続き保全に努めるものとしします。しかし、河道の疎通能力を最大限に発揮させるため、治水上支障となっている樹木については、河川環境の保全に配慮しつつ、災害防止の観点から必要に応じて、伐採・間伐・移植・保全などミティゲーション手法(緩和、軽減、代替など)を取り入れた樹木管理を行います。



竹林繁茂防止対策実施状況



樹木間伐後の防災ステーション前の河岸



樹木伐採



■清流再生への取り組み

水質改善対策として、矢落川浄化施設の設置や肱川流域清流保全推進協議会の取り組みを支援しています。協議会では関係機関と連携し継続的に水質改善に取り組んでいるほか、各市町の住民ボランティアによる肱川流域河川一斉清掃を行っています。

また、小学生による水生生物調査を支援するなどして、子ども達の河川環境に対する意識の啓発に取り組んでいます。



大洲市内での河川清掃



小学生による水生生物調査